

# “みんなごと”のまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク 市民協働推進コーディネーター 進捗報告



Vol.07  
平成30年  
2月

コーディネーター：日高由紀

## ～突き止めたい!寒天発祥の地～ 伏見寒天プロジェクト スタートしました★

### お宝No.10 伏見寒天プロジェクト (植野 彰 氏)

江戸時代に伏見区の旅館で偶然生まれたといわれている「寒天」の発祥の地を突き止めて、寒天発祥の地の石碑を建立し、伏見から寒天の歴史と魅力の発信をしようと、乾物商を営まれている植野さんが仲間を募って立ちあげた「伏見寒天プロジェクト」。寒天の歴史の奥深さ、おもしろさ、美味しさなど、寒天の魅力を多くの市民に知ってもらおうと、講演会から寒天スイーツ作りイベントまで、様々なまちづくり活動を企画発信されています。新聞等でも度々紹介されていますので、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「ただ記念の石碑を設置するのではなく、まずは伏見発祥の寒天の魅力をみんなに知ってもらい、仲間を増やしていきたいと思っています。」と代表の植野さん。

詳しい情報はfacebook [検索](#) [伏見寒天プロジェクト](#)

#### 寒天とは

江戸時代初期の1685年(貞享2年)、山城国紀伊郡伏見御駕籠町(現・京都府京都市伏見区御駕籠町)において旅館「美濃屋」の主人・美濃太郎左衛門が、戸外に捨てたトコロテンが凍結し、日中は融け、日を経た乾物を発見した。これでトコロテンをつくったところ、前よりも美しく海藻臭さが無いものができた。これを黄檗山萬福寺を開創した隠元禅師に試食してもらったところ、精進料理の食材として活用できると奨励された。同時に名前を尋ねられたが、まだ決めていなかったためその旨伝え、隠元は「寒空」や「冬の空」を意味する漢語の寒天に寒晒心太(かんざらしとこてん)の意味を込めて、寒天と命名したという。(wikipedia「寒天」より)

## ～私たちが子供向けプログラムを提供します～ 京都市内の児童館との連携

京都市児童館学童連盟のご協力で、施設長会議にて、子供向けプログラムを提供できる、まちづくり・お宝バンク提案者の活動を紹介しました。早速、秋まつりやクリスマスイベントへの出演依頼をいただきました。どうもありがとうございました!



### お宝No.227 SUKIDARAKE MAFIA 「SUKIDARAKE MAFIAの出張ライブ」

#### 【SUKIDARAKE MAFIA 熊沢さんのお話】

平成29年11月11日梅津北児童館の「じどうかん秋まつり」に出演してきました。ゲストパフォーマーということで、お祭りのエンディングで演奏することに。体育館のステージの上に立つことなんて、何年振りだったでしょうか!いつものライブとは違う緊張感がありました。歌ったのは、リクエストのあった「いつも何度でも」「恋 / 星野源」など。集まって

くれた小学生、中学生が、私たちの演奏に合わせて“恋ダンス”を踊ってくれたんです!

次回は是非、子どもたちにもステージに上がってもらって、私たちの演奏とコラボできたら良いですねというお話になりました。

まちづくり・お宝バンクには、他にも子供向けプログラムをお持ちの団体さんが登録されています。詳しくは「まちづくり・お宝バンク」サイトから「提案一覧」をご覧ください。  
[https://tsukururu-kyoto.net/bank\\_index/](https://tsukururu-kyoto.net/bank_index/)

### お宝No.239 京ことばの会 「京ことばを次世代に語り継ぐために広く活動の場を」

「京ことば」と言われたらどんな言葉を連想しますか?

「おおきに」「おいでやす」「おやかまっさんどした」等々…何となく聞いた事はあっても、普段の生活で使っている方はあまりいらっしゃらないかもしれません。

古来から引き継がれてきた美しい京ことばを、次の世代に継承していこうと活動されている「京ことばの会」のみなさんが、平成30年1月13日に下京区修徳児童館にて京ことばをつかった朗読劇と「京ことばかるた」体験をおこないました。

朗読劇「羅生門の鬼」では、京ことばの会代表で語り職人でもある中島さんによる迫力ある声色に子供達ははとて集中して聞き入り、京ことばかるた体験では、みんな前のめりになって札を取り合いました。

その後みんなで京の通り名わらべうたを歌い、最後に中島さんから、普段の生活でもつかえる京ことばとして、「かんにんえ」という言葉を正しい発音で子供達に伝授していただきました。いたずらをした子供に「かんにんえ～」と言われたら、つい笑って許してしまいそうですね。

児童館以外にも1月は、西院で開催されている「おいでやす食堂」でも京ことばかるたコーナーを設け、子供向けの活動を広げるきっかけができました。

日程が合えば京都各地に来てくださるそうですので、「うちにも来て欲しいな～」という方は、まちづくり・お宝バンクNo.239 京ことばの会の「ご意見・応援フォーム」からお問い合わせください。



## イベント「オープンCAFE」に障害保健福祉推進室が登壇

### 障害福祉サービス「オープンCAFE」にて京都市の事例紹介

#### お宝No.231 就労移行支援所(株)スマイルプラス烏丸御池

#### × 障害保健福祉推進室

毎月最終金曜日、プレミアムフライデーに合わせて開催されている、「働くことに障がいのあるすべての人」が働くためのサポート就労移行支援に取り組む株式会社スマイルプラス烏丸御池主催の「オープンCAFE」に、京都市障害保健福祉推進室就労支援担当から係長、プロモーター及びチャレンジ雇用で臨時的任用職員として就労している方に登壇いただき、京都市の障害者雇用「チャレンジ雇用推進事業」についてご紹介いただきました。

京都市のチャレンジ雇用についてご存知ない方も多かったようですが、特に参加者の興味をひいたのは、チャレンジ雇用を活用して、実際に現場で働かれている方の生の声でした。参加者から沢山の質問や感想が交わされ、早速「自分も挑戦してみたい」と目標を新たにされた方もいらっしゃったようです。

様々な理由で、フルタイム勤務が難しかったり、毎日出勤することが難しい方がいらっしゃいますが、みんなが同じタイムスケジュールで働くことを“当たり前”と片付けずに、受入れ側にもそれぞれの違いに柔軟に対応できる体制づくりへのチャレンジをしてもらうことで、働きにくさを抱える方々の「働きたい!」というチャレンジ心を社会に活かすことができるのだと思いました。

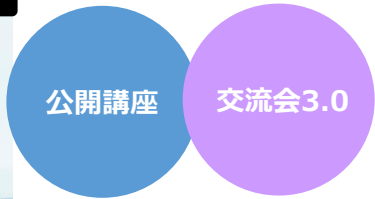
働きたい意欲をもつみんながチャレンジできる仕組みや理解が、このような場からこれからも広がっていくとよいですね。



カフェコーナーでは、飲み物とあたたかいメッセージが添えられたお菓子と一緒に、利用者の方がついた手作りコースターがプレゼントされました。

## 活動進化プログラムで様々なまちづくり・お宝バンク取組提案者と連携

たくさんのご協力  
どうもありがとうございました!

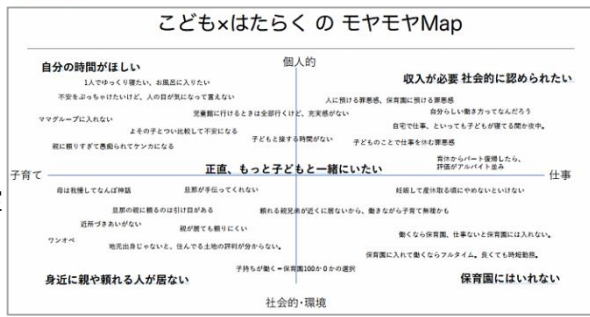


#### お宝No.262 オトナリラボ

【公開講座Vol.5 実践者たちとトコトン、トークで考える『ママと子どもが暮らしやすい京都』】

平成29年12月15日に開催された“みんなごと”のまちづくり推進事業活動進化プログラム公開講座にて、オトナリラボの芳野さんが、まちづくり・お宝

バンクに提案されている「オトナリラボ」プロジェクトについて、12月からスタートした社内向け子連れ事業所開設の話や、平成30年4月にオープン予定の「こどもとはたらくオトナリラボ」(子供と一緒に利用できるワークスペース)に向けて開催する見学会「オトナリラボ体験DAY」についての紹介をしてくださいました。



芳野さんが作成されたマトリクス図「こども×はたらくのモヤモヤMap」では、共感する参加者がうなずきながら聞いていました。

1月20日開催しました!



#### お宝No.247 霍野廣由

「宗教都市・京都で、お寺・若手僧侶をフルに使いたおす!」

平成30年1月20日に開催された「交流会3.0 Vol.2 ～いつもと違う出会いのデザイン～」の中で、20代～30代前半の超宗派若手僧侶のグループ「ワカゾー」のみなさんが、デスクカフェとして提供してくださった「帛辞を書く」体験プログラムが盛況でした。



「ついさっき出会った人だけど、これまで大切にしてきたモノやコトを知ることができたし、知ってもらうことができた」という感想も聞かれたようです。

#### お宝No.222 フードバンク京都

「交流会3.0 Vol.2」会場にて、今年もフードドライブを開催しました。

受付開始と同時に交流会参加者がフードドライブのブースに食品を持って来てくださり、「私がつけているオーガニックのもち米です」

「(お米を入れた)袋に子供が絵を描きました」等々、様々なエピソードも一緒に届けてくださいました。今回みなさんが持ち寄ってくださった食品の総重量は今年の約2倍、9.5kgとなりました。



#### お宝No.246 コミュニティ・スペースsacula



「京都で開催されている様々なプログラムを知る」MeetUpイベントプレゼンテーションのコーナーで、コミュニティ・スペースsaculaの木村さんが、「ひまわり食堂」「ハンドメイドショップさくら」「花束会」など地域と連携して実施されているイベントや活動内容をご紹介くださいました。